

## メンズ・オンリーNEW ジカル

# What a Wonderful World ~生きるってことはなんて素敵なんだろう~

作・演出 大日琳太郎

昭和 30 年代の宮城県の男子高校生たちの友情を、なつかしい歌あり、行進あり、体操ありでつづった男だけの音楽劇。バンカラな雰囲気があふれる演劇史上稀有な作品である。タイトルは劇中に流れるルイ・アームストロングの往年のヒット曲をそのまま使用している。大日の母校でもある仙台一高 15 回生卒業 50 周年を記念して創作され、友情出演した同窓生も少なくない。震災時の閉上の悲劇が盛り込まれるが、復興に向かって立ち上がろうとする男たちの劇中歌謡ショーが、さわやかな印象を残した。

## あらすじ

浅井道彦は 1963 年に宮城県の男子校・茶畑一高を卒業。81 年に芸能事務所を立ち上げるが、ライブの前日に所属歌手イースタン・フラワーズに逃げられてしまう。ライブを中止しようかと悩んでいるところに NHK から取材の申し込みが舞い込む。それも、30 分間も歌謡番組の中で大きく取り上げると言うのだ。せっかくのチャンスを逃してしまうのはもったいないと、リハーサルの見学に来ていた高校同期の男たちは、自分らの青春時代を描く歌芝居「メンズ・オンリー・New ジカル」を一晩で作り上げようと勢いづく。それで、なんとか急場はしのげるかのように見えた。

だが、ステージ上に二級下の後輩星一夫の幻影を見た浅井は、高校時代に自分が引き起こした痛ましい事件を思い出し、顔が曇る。野球部だった浅井は夕暮れのグラウンドで、陸上の有望選手だった星に誤って野球の球をぶつけてしまったのだ。お詫びのしるしにと、浅井は星を音楽室に連れて行き、歌を用いた英語の勉強法を授け、「What a Wonderful World」という曲を訳して聞かせる。その夜は折しも盆の花火大会。二人は大輪の花火を見上げながら誓いを立てる。浅井は早稲田大学で英米文学を専攻し将来は詩人になると。星はオリンピック選手になると。だが、そのとき浅井は、自分の投げた球のせいで星が数年後に失明し、五輪への道を閉ざされてしまうことを知る由もなかった。

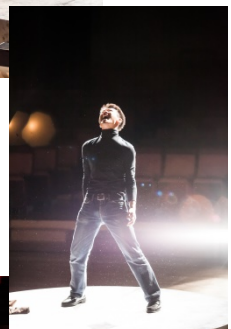
五年後、浅井は腐っていた。早稲田に不合格となり、いやいやながら進学した大学は中退寸前、誓った夢も忘れかけていた。ある夜、浅井のバイト先に高校同期の熊谷が現れ、荒れた生活を断ち切るために一度故郷に帰ることを勧める。

故郷に帰った浅井が目にしたのは、五年前の誓いを忘れず、閉上の浜辺で黙々とトレーニングに打ち込む星の姿であった。星は盲目となった今でも夢をあきらめてはいなかった。その健気さと強さに心打たれ、浅井は星に気づかれぬように、頭を砂にこすりつけて自分の弱さを星に詫げる。

やがて 40 余年の時は流れ、2011 年 3 月 11 日、浅井の芸能事務所創設 30 周年記念ライブの日、渋谷の会場を大きな揺れが襲う。震源地は宮城県沖と判明。同期生たちは車に乗って、一路故郷に向かおうとするが、不思議にも浅井の耳に星の声が聞こえてくる。ちょうどその頃、星の住む閉上の町に大津波が襲いかかろうとしていた。浅井は津波に飲まれる星の姿が見えたような気がして、狂ったように絶叫する。

さらに一年後、星の遺児の翔太が、東京で歌手を目指していることを知った浅井らは、父を喪った翔太をなぐさめ、盛り立てようとコンサートを行うことを決める。

しかし驚いたことに、芸能界 No. 1 のプロデューサーが突然会場に現れ、事態は思わぬ方向へ転がり出すのであった。



Cast 2015

友情出演	特別協力	惚れたあいつは旅役者	作詞	おのりく	挿入歌	イラスト画	園田あけみ	音響	濱田一郎	照明	松崎太郎	舞台監督	尾熊英樹	編曲	中原達彦	ピアノ	山崎教昌	熊谷進平	大立目弘	星正一	山内臨	遊々亭つばさ	西川健三	大島久昭	今井英二	鶴田清二	小野寺博	石原慶介	谷本耕治	小島小太郎	武田直之	星和夫	大田翔	内田譲
------	------	------------	----	------	-----	-------	-------	----	------	----	------	------	------	----	------	-----	------	------	------	-----	-----	--------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-----	-----	-----